

強固な黒潮町創設を目指せ

国や県の管理部署と協議



あまの 浅野 修一 議員

問 今後も、若人や各地区の意見を聞き、強固な黒潮町創設を目指すべきと考える。災害等非常時のために、大方球場や塩屋の浜、町内2カ所の道の駅、サーフィンの場所へ屋外放送設備を設置出来ないか。

答 松本 情報防災課長

緊急時の情報伝達のためにも屋外施設は必要だと認識している。将来的には、全町的な防災行政無線で対応するべきと考えるが、それまでの対

応として、今回の質問で具体的にあげている場所について、今後それぞれの管理をしている国や県の施設管理部署と協議をしていきたい。大方球場については、これから当初予算の査定に入るので、その中で、なお話めていきたい。

答 松本 情報防災課長

事業所が申請すれば、所定の費用を負担することで、黒潮町光ネットワークに加入することが出来、町内事業者であれば1万8千円で告知放送端末機の設置が出来る。まだまだ啓発が不十分かもしれないので、ポイントを絞った営業活動が必要と思う。

問 台風16号での被害は、河川の堤防、道路の側溝などが許容量を上回ったことが一つの要因と考える。町としての今後の対応は。

答 金子 まちづくり課長

満潮時刻が重なったことも一つの要因で、床上・床下浸水や、農作物への影響があった。市街地の近い所にある町管理河川は少数で、県管理河川がほとんど。現状での管理体制は、河川護岸が被災した場合、ほとんどが災害復旧事業で対応している。今後も、引き続き県に要望していく。

子育て支援

保育所訪問の感想は

それぞれに課題がある

問 今春、初めて保育所を訪問した町長自らの感想と、今後の取り組み、対応を聞く。

答 大西 町長

4月、5月と各保育所を訪問し、実際の生の声をお伺いすることの大切さを実感した。

全体的な率直な感想としては、各保育所にそれぞれの課題があるが、園児のことを第一に考え、保育がされていることが確認でき、安心した。

今後も、現場と定期的に意見交換の場を設け充実図りたい。

問 土曜日の保育で、正職員

のいない保育がされてはいないか。責任問題では。

答 坂本 教育長

土曜日の保育所での勤務体系で、自分たちが把握しているのは、保育所に最低1人は正規職員が配置されていると考えている。なお、再確認して、改善等を図っていきたい。



台風16号により被害を受けた水田（口湊川）